

2022 年 7 月 29 日
日本銀行盛岡事務所

岩手県金融経済概況（2022 年 6 月）

1. 概況

県内経済は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、減少している。設備投資は、増加している。個人消費は、持ち直している。住宅投資は、持ち直している。この間、生産は、総じてみれば持ち直し基調にある。雇用・所得環境は、改善の動きがみられる。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、減少している。

公共工事請負金額（2022 年 6 月）は、引き続き前年を下回った（前年比△12.7%）。

設備投資は、増加している。

2022 年 6 月短観（岩手県）における 2022 年度の設備投資は、前年度を大幅に上回る計画となっている（前年度比+69.4%）。内訳をみると、製造業では、電子部品・デバイスや輸送機械における能力増強投資を主因に前年度比 2 倍近い計画（同+93.8%）。非製造業でも、感染症の影響緩和を受けて前年を上回る計画となっている（同+14.9%）。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などが和らぐ中、持ち直している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2022 年 6 月）は、2 カ月振りに前年を下回った（前年比△2.1%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2022 年 6 月）は、前年と同水準となった（同+0.0%）。また、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2022 年 6 月）は、引き続き前年を下回った（同△1.5%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に持ち直している。

住宅投資は、持ち直している。

新設住宅着工戸数（2022 年 5 月）は、3 カ月振りに前年を下回った（前年比

△2.3%)。内訳をみると、分譲（同+81.0%）が前年を上回ったものの、持家（同△7.9%）、貸家（同△21.1%）は前年を下回った。

3. 生産動向

生産は、供給制約の影響はあるものの、総じてみれば持ち直し基調にある。

鉱工業生産指数（季節調整値：2022年5月）は、3カ月連続で前月を上回った（前月比+2.4%）。主な業種の指数をみると、生産用機械、輸送機械などが上昇したものの、電子部品・デバイスなどが低下した。

四半期の動きをみると、2022/1～3月は2期連続で前期比低下した（2021/7～9月：前期比+6.3%、10～12月：同△3.7%、2022/1～3月：同△2.9%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善の動きがみられる。

有効求人倍率（季節調整値：2022年6月）は、1.31倍と4カ月振りに前月を上回った（2022年5月：1.29倍）。

雇用者所得（県内合計値：2022年5月）は、名目賃金指数（前年比+3.7%）、常用雇用指数（同+1.5%）とも前年を上回る中、6カ月連続で前年を上回った（同+5.2%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2022年6月）は、光熱・水道の上昇などから引き続き前年を上回った（前年比+2.2%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2022年6月）は、3件、負債総額253百万円となった（前年同月は2件、76百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2022年5月）は、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2022年5月）は前月に比べて低下した。

以上

